

# 宇都宮文化財マップ

—時代を刻む道 日光街道—



県指定天然記念物 けやき【智賀都神社】

宇都宮市教育委員会

## 妙哲禅師の墓附墓碑【伝法寺】 ■ C・4



妙哲禅師は、鎌倉時代に奥州（東北地方）に生まれ、雲巖寺（黒羽町）の仏国国師の弟子となり、この伝法寺や妙雲寺（塩原町）・同慶寺（宇都宮市竹下町）を開き、下野国（栃木県）に臨済宗をひろめた中心人物です。

墓碑は高さ1.48mの安山岩製で、八角形の基礎の上に八角柱の竿石を立て、ここに中台をのせ、その上に卵形の塔身を安置した無縫塔です。墓碑の基礎面に、禅師の功績と貞和5年（1349）11月12日の没年を刻んでいます。

[昭和31年6月15日 県指定]

## 篠井神祠 ■ A・4



この神祠は、寛文7年（1667）に奉納したもので、銅製の扉には、日光山への寄進場所と品目が刻み込まれています。品目の中には高価なものもあり、強い日光信仰によって結ばれた講（集団参詣の組織）が寄進したものと思われます。

覚書の中には「宇都宮外久次良大明神鱒口……」と刻んだものがあります。この大明神とは徳次郎智賀都神社のことで、「徳次郎」の地名は「外久次良」が転じたものといわれています。

[昭和42年3月25日 市指定]

※個人の宅地内にあるため見学には、所有者の許可が必要です。

## 木造虚空蔵菩薩立像【東海寺】 ■ A・4



虚空蔵とは、その広大無辺の功德が虚空（大空）のように大きいという意味です。

東海寺の木造虚空蔵菩薩立像は、頭上には八角形の宝冠をつけ、右手に智慧の剣、左手には蓮華の上に福德の如意宝珠を持っています。像高は130cm、肩幅は23cmあり、制作年代は室町時代と思われます。60年に1度開帳される秘仏です。

[昭和62年3月31日 市指定]

※秘仏であるため、通常は拝観することはできません。